

対象校No.
注4

学校コード F112310102583
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

注2
植草学園大学 看護学部 看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人植草学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学事務局 学務課
職名・氏名	主任・ ^{マツモト} 松本 ^{シュンヤ} 駿哉
電話番号	043-239-2602 (内線: 2013)
(夜間)	なし
e-mail	kikaku1@uekusa.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人植草学園

(2) 大 学 名

植草学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒264-0007

千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ウエクサ カズノリ) 植 草 和 典 (平成28年4月)		
学 長	(ナカザワ ジュン) 中 澤 潤 (平成30年4月)		
学 部 長	(ナカムラ ノブエ) 中 村 伸 枝 (令和7年4月)		
学 科 長 等	(アサノ ミチエ) 浅 野 美 知 恵 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関 係（看護学関 係）	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.32倍	－	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	53 (-) [-]	(-) [-]				
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	50 (-) [-]	(-) [-]				
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	46 (-) [-]	(-) [-]				
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	26 (-) [-]	(-) [-]				
入学定員超過率 B/A	－		－		－		－		－		0.32					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなど）、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		備 考	
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次		－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	26 [－] (－)	－ [－] (－)		
2 年次				－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		
3 年次						－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)
4 年次								－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)
計				－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		26 [－] (－)

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	26 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 (助手を除く)	基幹教員以外 (助手を除く)
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	教育科目	人間と道徳	1・前		2									1
		哲学入門	1・2後			2								1
		倫理学入門	1・2後			2								1
		心理学	1・2前	2										1
		教育学入門	1・2前			2								1
		文学の世界	1・2前			2								1
		音楽の世界	1・2後			2								1
		歴史学	1・2後			2								1
		行動科学入門	1・2後			2							4	
		法学入門	1・2前			2								1
		日本国憲法	1・2前			2								1
		経済学入門	1・2前			2								1
		社会学入門	1・2前	2										1
		ベーシックサイエンス	1・2前			2								1
		バイオリテラシー入門	1・2前			2								1
		統計学入門	1・2前			2		1						
		データサイエンス入門	1後	2										1
		人間関係論	1・2前			2								1
		国際理解	1・2前			2								1
		コミュニケーション論	1・2後	2										1
		環境科学	1・2後			2								1
		自信を高める心理学	1・2前			2								1
		障害インクルージョン論	1・2後	2										1
		バラスポーツ指導概論	1・2前			2								2
		小計(24科目)		-	-	12	36	0	1	0	0	0	0	0
体育・スポーツ科目	国際コミュニケーション科目	スポーツ健康科学基礎理論	1後			1							1	
		体育実技A	1・2前			1							3	
		体育実技B	1・2前			1							3	
		体育実技C	1・2後			1							2	
		体育実技D	1・2後			1							2	
		小計(5科目)	-	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
基礎演習科目	国際コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1前		2								3	
		英語Ⅱ	1後		2								3	
		英会話	1・2前・後			2							1	
		キャリアアップ英語	1・2後			2							1	
		中国語入門	1・2前			2							1	
		フランス語入門	1・2前			2							1	
		ドイツ語入門	1・2後			2							1	
		小計(7科目)	-	-	4	10	0	0	0	0	0	0	0	7
基礎演習科目	基礎演習科目	情報機器演習	1・2前		2								1	
		文章表現演習	1後			2							2	
		読書技術演習	1・2前			2							1	
		自然科学基礎演習	1前			2							3	
		海外研修Ⅰ	1・2・3・4			1							2	
		海外研修Ⅱ	1・2・3・4			1							2	
小計(6科目)		-	-	2	8	0	0	0	0	0	0	7		
合計(42科目)		-	-	18	59	0	1	0	0	0	0	0	34	

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基礎 科目	人間と道徳	1・前		2									1	
	哲学入門	1・2後			2								1	
	倫理学入門	1・2後			2								1	
	心理学	1・2前	2										1	
	教育学入門	1・2前			2								1	
	文学の世界	1・2前			2								1	
	音楽の世界	1・2後			2								1	
	歴史学	1・2後			2								1	
	行動科学入門	1・2後			2							5	1	
	法学入門	1・2前			2								1	
	日本国憲法	1・2前			2								1	
	経済学入門	1・2前			2								1	
	社会学入門	1・2前	2										1	
	ベーシックサイエンス	1・2前			2								1	
	バイオリテラシー入門	1・2前			2								1	
	統計学入門	1・2前			2		1							
	データサイエンス入門	1・後	2				1							
	人間関係論	1・2前			2								1	
	国際理解	1・2前			2								1	
	コミュニケーション論	1・2後	2										1	
	環境科学	1・2後			2								1	
	自信を高める心理学	1・2前			2								1	
	障害インクルージョン論	1・2後	2										1	
	バラスポーツ指導概論	1・2前			2								2	
	小計(24科目)	－	－	12	36	0	1	0	0	0	0	0	21	
	体育・スポーツ 科目	スポーツ健康科学基礎理論	1・後			1								1
		体育実技A	1・2前			1								3
		体育実技B	1・2前			1								3
		体育実技C	1・2後			1								2
		体育実技D	1・2後			1								2
		小計(5科目)	－	－	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
	国際 コミュニケーション 科目	英語Ⅰ	1・前		2									3
		英語Ⅱ	1・後		2									3
		英会話	1・2前・後			2								1
		キャリアアップ英語	1・2後			2								1
		中国語入門	1・2前			2								1
フランス語入門		1・2前			2								1	
ドイツ語入門		1・2後			2								1	
小計(7科目)	－	－	4	10	0	0	0	0	0	0	0	8		
基礎 演習 科目	情報機器演習	1・2前		2									1	
	文章表現演習	1・後			2								2	
	読書技術演習	1・2前			2								1	
	自然科学基礎演習	1・前			2								3	
	海外研修Ⅰ	1・2・3・4			1		1						2	
	海外研修Ⅱ	2・3・4			1		1						2	
	小計(6科目)	－	－	2	8	0	1	0	0	0	0	0	7	
合計(42科目)	－	－	18	59	0	2	0	0	0	0	0	36		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					（ 助 手 を 除 く） 基 幹 教 員 以 外 の 教 員
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能Ⅰ	1前		2								1
	人体の構造と機能Ⅱ	1前		2								1
	人体の構造と機能演習	1後		1			1	1	1	1		
	薬理学	1後		2								5
	生化学・栄養学	1前		2								1
	運動学	3前			1							1
	ゲノム・遺伝学	4前			1							2
	感染と防御	2前		2								1
	病態学	1後		2								1
	疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）	2前		1								8
	疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）	2前		1								8
	疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）	2前		1								3
	疾病と治療Ⅳ（高齢者の疾患・精神疾患）	2前		1								2
	保健医療統計学	2前	○	1			1					
	保健医療情報学	2前	○	1			1					
	公衆衛生学・疫学	2後	○	1			1					
	疫学演習	3前	○	1			1	1				
	保健医療福祉制度論	2前	○	2			1					1
	地域資源とマネジメント	2後	○	1			1	1	1			
	医療経済学	4前			1		1			2		
	家族社会論	1前	○	1			2					
	専門職連携論	2後	○	1				3				4
	小計(22科目)	-	-	-	26	3	0	5	4	3	1	1
専 門 教 育 科 目	エレメンタリーセミナー	1前	○	1			5	4	2			
	看護学原論Ⅰ	1前	○	2				1	1	1	1	
	看護学原論Ⅱ	1後	○	2				1	1	1	1	
	看護基本技術Ⅰ	1前	○	1				1	1	1	1	
	看護基本技術Ⅱ	1前	○	1				1	1	1	1	
	看護基本技術Ⅲ	1後	○	1				1	1	1	1	
	看護基本技術Ⅳ	2前	○	1				1	1	1	1	
	看護基本技術Ⅴ	2後	○	1				1	1	1	1	
	看護倫理	2前	○	1			1					
	地域包括ケア論	2前	○	1			2	3	2			
	急性期看護学概論	2前	○	1			1	1	2			
	慢性期看護学概論	2前	○	1			1	1	1			
	成人(急性・慢性)看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1	2			
	成人(急性・慢性)看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1	2			
	ヘルスプロモーション	1後	○	1			1					
	エンドオブライフケア	2後	○	1			1					
	成人看護学概論	1後	○	1			1	1				
	老年看護学概論	2前	○	2			1		1			
	老年看護方法Ⅰ	2後	○	1			1		1			
	老年看護方法Ⅱ	3前	○	1			1		1		1	
	母性看護学概論	2前	○	2			1	1				1
	母性看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1		1		
	母性看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1		1		
	小児看護学概論	2前	○	2			1	1				
	小児看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1			1	
	小児看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1		1		
	精神保健看護学概論	2前	○	2			1		1			
	精神保健看護方法Ⅰ	2後	○	1			1		1			
	精神保健看護方法Ⅱ	3前	○	1			1		1		1	
	地域・在宅看護学概論	1後	○	2			1	1		1		
	地域・在宅看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1		1		
	地域・在宅看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1		1		
	公衆衛生看護学概論	2後	○	2			1	1	1			
	公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護）	3前	○		2		1	1	1			
	公衆衛生看護方法論Ⅱ（学校看護）	3前			1						1	
	公衆衛生看護方法論Ⅲ（産業看護）	3前			1						1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単 位 数			基幹教員等の配置					基幹教員以 外の教員 (助手を 除く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能Ⅰ	1前		2								1
	人体の構造と機能Ⅱ	1前		2								1
	人体の構造と機能演習	1後		1				1	1	2		
	薬理学	1後		2								5
	生化学・栄養学	1前		2								1
	運動学	3前			1							1
	ゲノム・遺伝学	4前			1							2
	感染と防御	2前		2								1
	病態学	1後		2								1
	疾病と治療Ⅰ(内科系疾患)	2前		1								8
	疾病と治療Ⅱ(外科系疾患)	2前		1								8
	疾病と治療Ⅲ(小児の疾患・感染症)	2前		1								3
	疾病と治療Ⅳ(高齢者の疾患・精神疾患)	2前		1								2
	保健医療統計学	2前	○	1			1					
	保健医療情報学	2前	○	1			1					
	公衆衛生学・疫学	2後	○	1			1					
	疫学演習	3前	○	1			1	1				
	保健医療福祉制度論	2前	○	2			1					1
	地域資源とマネジメント	2後	○	1				2	1			
	医療経済学	4前			1					2		
	家族社会論	1前	○	1			2					
	専門職連携論	2後	○	1				3				4
	小計(22科目)	-	-	-	26	3	0	4	5	3	1	1
専 門 教 育 科 目	エレメンタリーセミナー	1前	○	1			4	4	2			
	看護学原論Ⅰ	1前	○	2				1	1	2		
	看護学原論Ⅱ	1後	○	2				1	1	2		
	看護基本技術Ⅰ	1前	○	1				1	1	2		
	看護基本技術Ⅱ	1前	○	1				1	1	2		
	看護基本技術Ⅲ	1後	○	1				1	1	2		
	看護基本技術Ⅳ	2前	○	1				1	1	2		
	看護基本技術Ⅴ	2後	○	1				1	1	2		
	看護倫理	2前	○	1			1					
	地域包括ケア論	2前	○	1			2	3	2			
	急性期看護学概論	2前	○	1			1	1	2			
	慢性期看護学概論	2前	○	1			1	1	1			
	成人(急性・慢性)看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1	2			
	成人(急性・慢性)看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1	2			
	ヘルスプロモーション	1後	○	1			1					
	エンドオブライフケア	2後	○	1			1					
	成人看護学概論	1後	○	1			1	1				
	老年看護学概論	2前	○	2			1		1			
	老年看護方法Ⅰ	2後	○	1			1		1			
	老年看護方法Ⅱ	3前	○	1			1		1	1		
	母性看護学概論	2前	○	2			1	1				1
	母性看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1		1		
	母性看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1		1		
	小児看護学概論	2前	○	2			1	1				
	小児看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1		1		
	小児看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1		1		
	精神保健看護学概論	2前	○	2			1		1			
	精神保健看護方法Ⅰ	2後	○	1			1		1			
	精神保健看護方法Ⅱ	3前	○	1			1		1	1		
	地域・在宅看護学概論	1後	○	2			1	1		1		
	地域・在宅看護方法Ⅰ	2後	○	1			1	1		1		
	地域・在宅看護方法Ⅱ	3前	○	1			1	1		1		
	公衆衛生看護学概論	2後	○	2				1	1			
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(行政看護)	3前	○		2			2	1			
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(学校看護)	3前			1						1	
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(産業看護)	3前			1						1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					(基 幹 教 員 以 外 の 教 員 を 除 く)	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	公衆衛生看護学演習	3前	○		2		1	1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前	○		1		1	1	1				
		地区活動論	3前	○		2		1	1	1				
		健康教育論	2後	○	1			1	1	1				
		地域共創ケアⅢ	3前	○	1				4	1	2			
		看護学セミナー	3前	○	1			8	7	3		1		
		看護管理・看護政策論	4前	○	1			1				1		
		災害看護学概論	2前	○	1			1	2	1		1		
		災害看護学演習	4前			1		1	2	1		1		
		グローバルヘルス看護学Ⅰ	2後	○	1			1	1					
		グローバルヘルス看護学Ⅱ	4前			1		1						
		看護学研究Ⅰ	1後	○	1			1	1	1				
		看護学研究Ⅱ	3後	○	1			8	7	6				
		看護学研究Ⅲ(卒業研究)	4通	○	2			8	7	6				
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	○	1				2	2	1	3		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	○	2				2	2	1	3		
		地域共創ケアⅠ	1後	○	1			3	1					
		地域共創ケアⅡ	2後	○	1			2	2					
		地域・在宅看護学実習	3後	○	2			1	1		1			
		成人急性期看護学実習	3後	○	3			1	1	2		1		
		成人慢性期看護学実習	3後	○	2			1	1	2		1		
		老年看護学実習	3後	○	2			1		1		1		
		母性看護学実習	3後	○	2			1	1		1			
		小児看護学実習	3後	○	2			1	1		1			
		精神保健看護学実習	3後	○	2			1		1		1		
		公衆衛生看護学実習	3後	○		2		1	1	1				
		公衆衛生看護展開実習	4前	○		1		1	1	1				
		公衆衛生看護管理実習	4前	○		3		1	1	1				
		統合看護実習	4前	○	3			6	5	5	4			
		小計(65科目)		-	-	74	17	0	8	7	6	4	5	6
		合計(87科目)		-	-	100	20	0	8	7	6	4	5	44
		合計(129科目)		-	-	118	79	0	8	7	6	4	5	77
卒業要件及び履修方法														
必修科目118単位、教養教育科目の基礎科目の選択科目から2単位、体育・スポーツ科目の選択科目から2単位、国際コミュニケーション科目の選択科目から2単位、基礎演習科目の選択科目から2単位、専門教育科目の専門基礎科目の選択科目から1単位、専門科目の選択科目から1単位以上を修得し、128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))														

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					(基 幹 教 員 以 外 の 教 員 を 除 く)	基幹教員以 外の教員 (助手を除く)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	公衆衛生看護学演習	3前	○		2			2	1				
		公衆衛生看護管理論	4前	○		1		1	1	1				
		地区活動論	3前	○		2			1	1				
		健康教育論	2後	○	1				2	1				
		地域共創ケアⅢ	3前	○	1				4	1	2			
		看護学セミナー	3前	○	1			7	7	3			1	
		看護管理・看護政策論	4前	○	1			1					1	
		災害看護学概論	2前	○	1				2	1			1	
		災害看護学演習	4前			1			2	1			1	
		グローバルヘルス看護学Ⅰ	2後	○	1			1	1					
		グローバルヘルス看護学Ⅱ	4前			1		1						
		看護学研究Ⅰ	1後	○	1			1	1	1				
		看護学研究Ⅱ	3後	○	1			7	7	6				
		看護学研究Ⅲ(卒業研究)	4通	○	2			7	7	6				
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	○	1				2	2	2	2	2	
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	○	2				2	2	2	2	2	
		地域共創ケアⅠ	1後	○	1			3	1					
		地域共創ケアⅡ	2後	○	1			2	2					
		地域・在宅看護学実習	3後	○	2			1	1		1			
		成人急性期看護学実習	3後	○	3			1	1	2			1	
		成人慢性期看護学実習	3後	○	2			1	1	2			1	
		老年看護学実習	3後	○	2			1		1	1			
		母性看護学実習	3後	○	2			1	1			1		
		小児看護学実習	3後	○	2			1	1			1		
		精神保健看護学実習	3後	○	2			1		1	1			
		公衆衛生看護学実習	3後	○		2			2		1			
		公衆衛生看護展開実習	4前	○		1			1	1				
		公衆衛生看護管理実習	4前	○		3			2		1			
		統合看護実習	4前	○	3			6	5	5	7			
		小計(65科目)		-	-	74	17	0	7	7	6	7	3	6
		合計(87科目)		-	-	100	20	0	7	7	6	7	3	44
		合計(129科目)		-	-	118	79	0	7	7	6	7	3	79
卒業要件及び履修方法														
必修科目118単位、教養教育科目の基礎科目の選択科目から2単位、体育・スポーツ科目の選択科目から2単位、国際コミュニケーション科目の選択科目から2単位、基礎演習科目の選択科目から2単位、専門教育科目の専門基礎科目の選択科目から1単位、専門科目の選択科目から1単位以上を修得し、128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))														

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・指導体制の見直しにより、「行動科学入門」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「データサイエンス入門」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「国際コミュニケーション科目」の基幹教員以外の教員数を「7」から「8」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「海外研修Ⅰ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「教授1」「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育課程の見直しにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4」から「2・3・4」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「海外研修Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「教授1」「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「人体の機能と構造 演習」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「地域資源とマネジメント」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「エレメンタリーセミナー」の基幹教員等の配置を「教授5」「准教授4」「講師2」から「教授4」「准教授4」「講師2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護学原論Ⅰ」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護学原論Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護基本技術Ⅰ」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護基本技術Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護基本技術Ⅲ」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護基本技術Ⅳ 演習」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「看護基本技術Ⅴ」の基幹教員等の配置を「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」から「准教授1」「講師1」「助教2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「老年看護方法Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「精神保健看護方法Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「公衆衛生看護学概論」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護）」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「公衆衛生看護学演習」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「地区活動論」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「健康教育論」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「看護学セミナー」の基幹教員等の配置を「教授8」「准教授7」「講師3」「基幹教員以外の教員1」から「教授7」「准教授7」「講師3」「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「災害看護学概論」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授2」「講師1」「基幹教員以外の教員1」から「准教授2」「講師1」「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「災害看護学演習」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授2」「講師1」「基幹教員以外の教員1」から「准教授2」「講師1」「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「看護学研究Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授8」「准教授7」「講師6」から「教授7」「准教授7」「講師6」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「看護学研究Ⅲ（卒業研究）」の基幹教員等の配置を「教授8」「准教授7」「講師6」から「教授7」「准教授7」「講師6」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「基礎看護学実習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「准教授2」「講師2」「助教1」「助手3」から「准教授2」「講師2」「助教2」「助手2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「基礎看護学実習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授2」「講師2」「助教1」「助手3」から「准教授2」「講師2」「助教2」「助手2」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「老年看護学実習」の基幹教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「精神保健看護学実習」の基幹教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「公衆衛生看護学実習」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「公衆衛生看護展開実習」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退による指導体制の見直しにより、「公衆衛生看護管理実習」の基幹教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・指導体制の見直しにより、「統合看護実習」の基幹教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師5」「助教4」から「教授6」「准教授5」「講師5」「助教7」に変更。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
82 科目	47 科目	0 科目	129 科目	82 科目 [－]	47 科目 [－]	0 科目 [－]	129 科目 [－]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△ 1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{129} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【千葉医療センター内緑森キャンパス】 借用期間20年 定期建物賃貸借契約 借用面積 3,000㎡ 【千葉若葉キャンパス】 借用期間20年 土地借用面積 991㎡			
	校 舎 敷 地	29,874.00㎡	13,065.00㎡	0㎡	42,939.00㎡				
	そ の 他	29,951.00㎡	0㎡	0㎡	29,951.00㎡				
	合 計	59,825.00㎡	13,065.00㎡	0㎡	72,890.00㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		22,966.93㎡ (18,716.72㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	22,966.93㎡ (18,716.72㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	82室	教員研究室	31室	大学全体			
(4)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	図書は、学部等单位での 特定不能なため、大 学全体の数	
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	看護学部	71,926 [1,670] (71,326 [1,670])	50 [0] (50 [0])	95 [7] (95 [7])	3 [1] (3 [1])	2,669 (1,397)	53 (53)		
	計	71,926 [1,670] (71,326 [1,670])	50 [0] (50 [0])	95 [7] (95 [7])	3 [1] (3 [1])	2,669 (1,397)	53 (53)		
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
		5,693.00㎡		0㎡		1,435.93㎡			
(6)経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	2,126千円	3,337千円	3,048千円	
		共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	71,976千円	131,908千円	0千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,808千円	1,655千円	1,655千円	1,655千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、科学研究費補助金をはじめとする競争的研究資金、学園全体の資金運用収入及び事業収入、雑収入等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）又は（その 1 の 3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）

・ 「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学等の名称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
発達教育学部	4	100	-	520	-	0.61	-	-	平成20	-	令和7年度から入学定員変更(140→100)			
発達支援教育学科	4	100	-	520	学士(教育学)	0.61	-	-	平成20	千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3				
保健医療学部	4	80	-	320	-	0.73	-	-	平成20	-				
リハビリテーション学科	4	80	-	320	-	0.73	-	-	令和2	千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3				
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士(理学療法学)	0.86	-	-	令和2	同上				
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(作業療法学)	0.60	-	-	令和2	同上				
看護学部	4	80	-	320	-	0.32	-	-	令和7	-				
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	0.32	-	-	令和7	千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3				
大学全体	4	260	-	1160	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	宮崎 美砂子 (65) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		地域資源とマネジメント エレメンタリーセミナー 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護） 公衆衛生看護学演習 公衆衛生看護管理論 地区活動論 健康教育論 看護学セミナー 災害看護学概論 災害看護学演習 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護展開実習 公衆衛生看護管理実習
基 (主 専)	教授	中村 伸枝 (67) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		家族社会論 エレメンタリーセミナー 小児看護学概論 小児看護方法Ⅰ 小児看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 小児看護学実習 統合看護実習

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	中村 伸枝 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		家族社会論 エレメンタリーセミナー 小児看護学概論 小児看護方法Ⅰ 小児看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 小児看護学実習 統合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		
基 (主 専)	教授	浅野 美知恵 (65) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	教授
		看護倫理 急性期看護学概論 慢性期看護学概論 成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ 成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ エンドオブライフケア 成人看護学概論 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習 統合看護実習		
基 (主 専)	教授	北池 正 (66) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（保健学）	基 (主 専)	教授
		統計学入門 保健医療統計学 保健医療情報学 公衆衛生学・疫学 疫学演習 保健医療福祉制度論 エレメンタリーセミナー ヘルスプロモーション 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅡ		
基 (主 専)	教授	林 ひろみ (60) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	教授
		地域包括ケア論 母性看護学概論 母性看護方法Ⅰ 母性看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 母性看護学実習 統合看護実習		
基 (主 専)	教授	浅野 美知恵 (65) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	教授
		看護倫理 急性期看護学概論 慢性期看護学概論 成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ 成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ エンドオブライフケア 成人看護学概論 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習 統合看護実習		
基 (主 専)	教授	北池 正 (67) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（保健学）	基 (主 専)	教授
		統計学入門 データサイエンス入門 保健医療統計学 保健医療情報学 公衆衛生学・疫学 疫学演習 保健医療福祉制度論 エレメンタリーセミナー ヘルスプロモーション 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅡ		
基 (主 専)	教授	林 ひろみ (60) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	教授
		地域包括ケア論 母性看護学概論 母性看護方法Ⅰ 母性看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 母性看護学実習 統合看護実習		

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	栗栖 千幸 (58) ＜令和7年4月＞ 博士（商学）	基 (主 専)	栗栖 千幸 (58) ＜令和7年4月＞ 博士（商学）
		医療経済学 エレメンタリーセミナー 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護管理・看護政策論 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域・在宅看護学実習 統合看護実習		医療経済学 エレメンタリーセミナー 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 公衆衛生看護管理論 看護学セミナー 看護管理・看護政策論 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域・在宅看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	教授	小坂 恵美 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	小坂 恵美 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		エレメンタリーセミナー 精神保健看護学概論 精神保健看護方法Ⅰ 精神保健看護方法Ⅱ 看護学セミナー グローバルヘルス看護学Ⅰ グローバルヘルス看護学Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅡ 精神保健看護学実習 統合看護実習		海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ エレメンタリーセミナー 精神保健看護学概論 精神保健看護方法Ⅰ 精神保健看護方法Ⅱ 看護学セミナー グローバルヘルス看護学Ⅰ グローバルヘルス看護学Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅡ 精神保健看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	教授	田所 良之 (55) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）※	基 (主 専)	田所 良之 (55) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）※
		家族社会論 地域包括ケア論 老年看護学概論 老年看護方法Ⅰ 老年看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 老年看護学実習 統合看護実習		家族社会論 地域包括ケア論 老年看護学概論 老年看護方法Ⅰ 老年看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 老年看護学実習 統合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	
基 (主 専)	准教授	上原 たみ子 (56) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	上原 たみ子 (56) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 地域共創ケアⅡ 地域・在宅看護学実習 統合看護実習	地域資源とマネジメント 地域包括ケア論 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護） 公衆衛生看護学演習 健康教育論 地域共創ケアⅢ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅠ 地域共創ケアⅡ 地域・在宅看護学実習 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護管理実習 統合看護実習
基 (主 専)	准教授	小西 美ゆき (55) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）	小西 美ゆき (56) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		エレメンタリーセミナー 地域包括ケア論 急性期看護学概論 慢性期看護学概論 成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ 成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ 成人看護学概論 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 基礎看護学実習Ⅰ 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習 統合看護実習	エレメンタリーセミナー 地域包括ケア論 急性期看護学概論 慢性期看護学概論 成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ 成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ 成人看護学概論 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 基礎看護学実習Ⅰ 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習 統合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	
基 (主 専)	准教授	永田 亜希子 (51) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）	永田 亜希子 (51) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		人体の構造と機能 演習 <u>看護学原論Ⅰ</u> <u>看護学原論Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅰ</u> <u>看護基本技術Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅲ</u> <u>看護基本技術Ⅳ</u> <u>看護基本技術Ⅴ</u> <u>看護学セミナー</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>基礎看護学実習Ⅰ</u> <u>基礎看護学実習Ⅱ</u> <u>統合看護実習</u>	人体の構造と機能 演習 <u>看護学原論Ⅰ</u> <u>看護学原論Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅰ</u> <u>看護基本技術Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅲ</u> <u>看護基本技術Ⅳ</u> <u>看護基本技術Ⅴ</u> <u>看護学セミナー</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>基礎看護学実習Ⅰ</u> <u>基礎看護学実習Ⅱ</u> <u>統合看護実習</u>
基 (主 専)	准教授	岩瀬 靖子 (50) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	岩瀬 靖子 (50) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		<u>地域資源とマネジメント</u> <u>専門職連携論</u> <u>エレメンタリーセミナー</u> <u>公衆衛生看護学概論</u> <u>公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護）</u> <u>公衆衛生看護学演習</u> <u>公衆衛生看護管理論</u> <u>地区活動論</u> <u>健康教育論</u> <u>地域共創ケアⅢ</u> <u>看護学セミナー</u> <u>災害看護学概論</u> <u>災害看護学演習</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>公衆衛生看護学実習</u> <u>公衆衛生看護展開実習</u> <u>公衆衛生看護管理実習</u>	<u>地域資源とマネジメント</u> <u>専門職連携論</u> <u>エレメンタリーセミナー</u> <u>公衆衛生看護学概論</u> <u>公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護）</u> <u>公衆衛生看護学演習</u> <u>公衆衛生看護管理論</u> <u>地区活動論</u> <u>健康教育論</u> <u>地域共創ケアⅢ</u> <u>看護学セミナー</u> <u>災害看護学概論</u> <u>災害看護学演習</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>公衆衛生看護学実習</u> <u>公衆衛生看護展開実習</u> <u>公衆衛生看護管理実習</u>

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		
基 (主 専)	准教 授	鈴木 聡子 (46) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	鈴木 聡子 (46) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（看護学）
		母性看護学概論 母性看護方法Ⅰ 母性看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 看護学セミナー 災害看護学概論 災害看護学演習 グローバルヘルス看護学Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 母性看護学実習 統合看護実習		母性看護学概論 母性看護方法Ⅰ 母性看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 看護学セミナー 災害看護学概論 災害看護学演習 グローバルヘルス看護学Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 母性看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	准教 授	中水流 彩 (45) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	中水流 彩 (45) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		専門職連携論 エレメンタリーセミナー 地域包括ケア論 小児看護学概論 小児看護方法Ⅰ 小児看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅡ 小児看護学実習 統合看護実習		専門職連携論 エレメンタリーセミナー 地域包括ケア論 小児看護学概論 小児看護方法Ⅰ 小児看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 地域共創ケアⅡ 小児看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	准教 授	姫野 雄太 (33) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）	基 (主 専)	姫野 雄太 (33) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		疫学演習 専門職連携論 エレメンタリーセミナー 地域共創ケアⅢ 看護学セミナー 看護学研究Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 基礎看護学実習Ⅱ		疫学演習 専門職連携論 エレメンタリーセミナー 地域共創ケアⅢ 看護学セミナー 看護学研究Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 基礎看護学実習Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	松尾 尚美 (47) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		<u>エレメンタリーセミナー</u> <u>急性期看護学概論</u> <u>慢性期看護学概論</u> <u>成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ</u> <u>成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>基礎看護学実習Ⅰ</u> <u>成人急性期看護学実習</u> <u>成人慢性期看護学実習</u> <u>統合看護実習</u>
基 (主 専)	講師	阿部 由喜湖 (44) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		人体の構造と機能 演習 <u>看護学原論Ⅰ</u> <u>看護学原論Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅰ</u> <u>看護基本技術Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅲ</u> <u>看護基本技術Ⅳ</u> <u>看護基本技術Ⅴ</u> <u>看護学セミナー</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>基礎看護学実習Ⅰ</u> <u>基礎看護学実習Ⅱ</u> <u>統合看護実習</u>

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	松尾 尚美 (47) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		<u>エレメンタリーセミナー</u> <u>急性期看護学概論</u> <u>慢性期看護学概論</u> <u>成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ</u> <u>成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>基礎看護学実習Ⅰ</u> <u>成人急性期看護学実習</u> <u>成人慢性期看護学実習</u> <u>統合看護実習</u>
基 (主 専)	講師	阿部 由喜湖 (44) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		人体の構造と機能 演習 <u>看護学原論Ⅰ</u> <u>看護学原論Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅰ</u> <u>看護基本技術Ⅱ</u> <u>看護基本技術Ⅲ</u> <u>看護基本技術Ⅳ</u> <u>看護基本技術Ⅴ</u> <u>看護学セミナー</u> <u>看護学研究Ⅱ</u> <u>看護学研究Ⅲ（卒業研究）</u> <u>基礎看護学実習Ⅰ</u> <u>基礎看護学実習Ⅱ</u> <u>統合看護実習</u>

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	
基 (主 専)	講師	石井 優香 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）	石井 優香 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		エレメンタリーセミナー 地域包括ケア論 老年看護学概論 老年看護方法Ⅰ 老年看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 老年看護学実習 統合看護実習	エレメンタリーセミナー 地域包括ケア論 老年看護学概論 老年看護方法Ⅰ 老年看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅰ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 老年看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	講師	井口（栢沼）紗織 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）	井口（栢沼）紗織 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		地域資源とマネジメント 家族社会論 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護） 公衆衛生看護学演習 公衆衛生看護管理論 地区活動論 健康教育論 災害看護学概論 災害看護学演習 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護展開実習 公衆衛生看護管理実習	地域資源とマネジメント 家族社会論 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護） 公衆衛生看護学演習 公衆衛生看護管理論 地区活動論 健康教育論 災害看護学概論 災害看護学演習 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護展開実習 公衆衛生看護管理実習
基 (主 専)	講師	舘 祥平 (38) ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）	舘 祥平 (38) ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論 精神保健看護学概論 精神保健看護方法Ⅰ 精神保健看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 精神保健看護学実習 統合看護実習	地域包括ケア論 精神保健看護学概論 精神保健看護方法Ⅰ 精神保健看護方法Ⅱ 看護学セミナー 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 精神保健看護学実習 統合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	松戸 麻華 (36) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		家族社会論 急性期看護学概論 成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ 成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	助教	川上 奈々 (36) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 地域・在宅看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	助教	荻野 麻美 (33) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（看護学）
		小児看護方法Ⅰ 小児看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 小児看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	助教	吉見 萌々 (31) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（看護学）
		母性看護方法Ⅰ 母性看護方法Ⅱ 母性看護学実習 統合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	松戸 麻華 (36) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（看護学）
		家族社会論 急性期看護学概論 成人（急性・慢性）看護方法Ⅰ 成人（急性・慢性）看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 看護学研究Ⅱ 看護学研究Ⅲ（卒業研究） 基礎看護学実習Ⅱ 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	助教	川上 奈々 (37) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 地域・在宅看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	助教	荻野 麻美 (33) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（看護学）
		小児看護方法Ⅰ 小児看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 小児看護学実習 統合看護実習
基 (主 専)	助教	吉見 萌々 (31) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（看護学）
		母性看護方法Ⅰ 母性看護方法Ⅱ 母性看護学実習 統合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	助教	中條 華子 (40) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 地域・在宅看護学実習 統合看護実習
その他	教授	中澤 潤 (73) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（心理学）
		行動科学入門

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	助教	中條 華子 (40) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護方法Ⅰ 地域・在宅看護方法Ⅱ 地域共創ケアⅢ 地域・在宅看護学実習 統合看護実習
基 （主 専）	助教	小寺（川俣）香織 (43) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（看護学）
		人体の構造と機能 演習 看護学原論Ⅰ 看護学原論Ⅱ 看護基本技術Ⅰ 看護基本技術Ⅱ 看護基本技術Ⅲ 看護基本技術Ⅳ 看護基本技術Ⅴ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
基 （主 専）	助教	三保 健 (27) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（看護学）
		老年看護方法Ⅱ 老年看護学実習 統合看護実習
基 （主 専）	助教	三好（山城）未来 (28) ＜令和 9 年 4 月＞ 修士（医科学）
		精神保健看護方法Ⅱ 精神保健看護学実習 統合看護実習
その他	教授	中澤 潤 (73) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（心理学）
		行動科学入門

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	野澤 和弘 (65) ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（法学）
		人間と道德 障害インクルージョン論 文章表現演習
その他	教授	桑名 俊一 (70) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		人体の構造と機能Ⅱ
その他	教授	長谷川 修治 (70) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	教授	横田 経一郎 (64) ＜令和 7 年 4 月＞ 教育修士（国語教育学）
		文章表現演習 読書技術演習
その他	教授	早川 雅晴 (63) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		バイオリテラシー入門
その他	教授	實川 慎子 (58) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		専門職連携論
その他	教授	川口 由起子 (50) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		哲学入門【隔年】 倫理学入門【隔年】 情報機器演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	野澤 和弘 (65) ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（法学）
		人間と道德 障害インクルージョン論 文章表現演習
その他	教授	桑名 俊一 (70) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		人体の構造と機能Ⅱ
その他	講師	長谷川 修治 (70) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		英語Ⅰ
その他	教授	横田 経一郎 (64) ＜令和 7 年 4 月＞ 教育修士（国語教育学）
		文章表現演習 読書技術演習
その他	教授	早川 雅晴 (63) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		バイオリテラシー入門
その他	教授	實川 慎子 (58) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		専門職連携論
その他	教授	川口 由起子 (50) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		哲学入門【隔年】 倫理学入門【隔年】 情報機器演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	遠藤 隆志 (48) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		パラスポーツ指導概論 スポーツ健康科学基礎理論 体育実技 A 体育実技 B 体育実技 C 体育実技 D
その他	教授	三浦 達浩 (56) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		専門職連携論
その他	教授	池田 恭敏 (57) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（リハビリテーション）
		専門職連携論
その他	教授	山本 雅哉 (60) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		自然科学基礎演習 海外研修 I 海外研修 II 人体の構造と機能 I
その他	准教授	高瀬 浩司 (51) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		専門職連携論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	遠藤 隆志 (48) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		パラスポーツ指導概論 スポーツ健康科学基礎理論 体育実技 A 体育実技 B 体育実技 C 体育実技 D
その他	教授	三浦 達浩 (56) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		専門職連携論
その他	教授	池田 恭敏 (57) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（リハビリテーション）
		専門職連携論
その他	教授	倉山 太一 (48) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		自然科学基礎演習
その他	准教授	高瀬 浩司 (52) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		専門職連携論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	足立 英彦 (49) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		心理学 行動科学入門 人間関係論 コミュニケーション論 自信を高める心理学
その他	准教授	金子 功一 (38) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）※
		行動科学入門
その他	准教授	荒金 房子 (63) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学・文学）
		英語 I 英語 II
その他	准教授	角 正美 (45) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（行動科学）
		自然科学基礎演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	足立 英彦 (49) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		自信を高める心理学
その他	准教授	金子 功一 (39) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）※
		行動科学入門
その他	准教授	荒金 房子 (63) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学・文学）
		英語 I 英語 II
その他	教授	角 正美 (45) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（行動科学）
		自然科学基礎演習
その他	准教授	相磯（藤森）友子 (47) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		行動科学入門
その他	准教授	實石 達也 (39) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		自然科学基礎演習 海外研修 I 海外研修 II 人体の構造と機能 I

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小野（鈴木） まどか (37) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		教育学入門 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ
その他	講師	鈴木（土屋） 瑛貴 (34) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		体育実技C
その他	講師	北田（堀越） 沙也加 (33) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		行動科学入門
その他	助教	窪谷 珠江 (43) ＜令和 9 年 4 月＞ 修士（教育学）
		運動学
その他	助教	千葉 諭 (39) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		自然科学基礎演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小野（鈴木） まどか (37) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		教育学入門 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ
その他	講師	北田（堀越） 沙也加 (33) ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		行動科学入門
その他	講師	伊東 哲 (32) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	助教	窪谷 珠江 (43) ＜令和 9 年 4 月＞ 修士（教育学）
		運動学
その他	助教	清末 有紀 (28) ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（心理学）
		心理学 行動科学入門 人間関係論 コミュニケーション論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	酒井 志麻 (52) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		文学の世界
その他	講師	柴辻 純子 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(美学)
		音楽の世界
その他	講師	永島 育 (33) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		歴史学【隔年】
その他	講師	金津 謙 (54) ＜令和7年4月＞ 修士(法学)※
		法学入門【隔年】 日本国憲法
その他	講師	李 雨テイ (34) ＜令和7年4月＞ 修士(商業)
		経済学入門
その他	講師	石川 千穂 (46) ＜令和7年4月＞ 学士(社会学)
		社会学入門
その他	講師	吉田(田島)実久 (36) ＜令和7年4月＞ 博士(学際情報学)
		ベーシックサイエンス

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	酒井 志麻 (52) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		文学の世界
その他	講師	柴辻 純子 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(美学)
		音楽の世界
その他	講師	永島 育 (33) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		歴史学【隔年】
その他	講師	金津 謙 (54) ＜令和7年4月＞ 修士(法学)※
		法学入門【隔年】 日本国憲法
その他	講師	李 雨テイ (34) ＜令和7年4月＞ 修士(商業)
		経済学入門
その他	講師	石川 千穂 (46) ＜令和7年4月＞ 学士(社会学)
		社会学入門
その他	講師	吉田 実久 (36) ＜令和7年4月＞ 博士(学際情報学)
		ベーシックサイエンス

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	松本 暢平 (38) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		データサイエンス入門
その他	講師	大塚 孝一 (49) ＜令和7年4月＞ 修士（応用言語学）
		国際理解 英語Ⅰ 英語Ⅱ キャリアアップ英語
その他	講師	泉 賢太郎 (38) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		環境科学
その他	講師	馬場 宏輝 (54) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		パラスポーツ指導概論
その他	講師	中島 亮一 (34) ＜令和7年4月＞ 修士（体育学）
		体育実技A 体育実技B
その他	講師	下稲葉 耕己 (41) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		体育実技A 体育実技B
その他	講師	中島 悠介 (40) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		体育実技D

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	
その他	講師	大塚 孝一 (49) ＜令和7年4月＞ 修士（応用言語学）
		国際理解 英語Ⅱ キャリアアップ英語
その他	講師	泉 賢太郎 (38) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		環境科学
その他	講師	馬場 宏輝 (54) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		パラスポーツ指導概論
その他	講師	中島 亮一 (34) ＜令和7年4月＞ 修士（体育学）
		体育実技A 体育実技B
その他	講師	下稲葉 耕己 (41) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		体育実技A 体育実技B
その他	講師	中島 悠介 (40) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		体育実技D

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マーク レモン (54) ＜令和7年4月＞ 学士（英文学）
		英会話
その他	講師	楊 紅 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		中国語入門
その他	講師	小川 亮彦 (70) ＜令和7年4月＞ 文学博士
		フランス語入門
その他	講師	パールケ ルートウィッヒ (58) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒(1年制商業大学修了)
		ドイツ語入門
その他	講師	古林 園子 (50) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		薬理学
その他	講師	宮野 孝彬 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		薬理学
その他	講師	早川 史織 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		薬理学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マーク レモン (54) ＜令和7年4月＞ 学士（英文学）
		英会話
その他	講師	楊 紅 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		中国語入門
その他	講師	パールケ ルートウィッヒ (58) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒(1年制商業大学修了)
		ドイツ語入門
その他	講師	古林 園子 (50) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		薬理学
その他	講師	早川 史織 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		薬理学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	松永 浩明 (35) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		薬理学
その他	講師	大熊 玲子 (34) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		薬理学
その他	講師	増田 敦子 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生化学・栄養学
その他	講師	青木 美紀子 (47) ＜令和10年4月＞ 博士（保健学）
		ゲノム・遺伝学
その他	講師	船木 明日美 (34) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学）
		ゲノム・遺伝学
その他	講師	岡田 忍 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		感染と防御 病態学
その他	講師	長瀬 さつき (44) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	松永 浩明 (35) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		薬理学
その他	講師	大熊 玲子 (34) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		薬理学
その他	講師	増田 敦子 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生化学・栄養学
その他	講師	青木 美紀子 (47) ＜令和10年4月＞ 博士（保健学）
		ゲノム・遺伝学
その他	講師	船木 明日美 (34) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学）
		ゲノム・遺伝学
その他	講師	岡田 忍 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		感染と防御 病態学
その他	講師	長瀬 さつき (44) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	江渡 秀紀 (65) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	高見 徹 (63) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	金田 暁 (65) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	今澤 俊之 (57) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	大野 友寛 (36) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	中澤 卓也 (58) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	上原 多恵子 (55) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	江渡 秀紀 (65) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	高見 徹 (63) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	金田 暁 (65) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	今澤 俊之 (57) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	大野 友寛 (36) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	中澤 卓也 (58) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）
その他	講師	上原 多恵子 (55) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅰ（内科系疾患）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小林 英一 (63) ＜令和8年4月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	千代 雅子 (52) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	鬼頭 浩之 (64) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	里見 大介 (59) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	鈴木 正人 (63) ＜令和8年4月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	黒田 香織 (49) ＜令和8年4月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	一色 真造 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小林 英一 (63) ＜令和8年4月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	千代 雅子 (52) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	鬼頭 浩之 (64) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	里見 大介 (59) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	鈴木 正人 (64) ＜令和8年4月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	黒田 香織 (49) ＜令和8年4月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	一色 真造 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	大河 昭彦 (63) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	鈴木 修一 (53) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）
その他	講師	須藤 扶佐代 (52) ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）
その他	講師	石原 あゆみ (58) ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）
その他	講師	高林 克日己 (75) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅳ（高齢者の疾患・精神疾患）
その他	講師	渡邊 博幸 (57) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅳ（高齢者の疾患・精神疾患）
その他	講師	布施 千草 (75) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（社会福祉学）
		保健医療福祉制度論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	大河 昭彦 (63) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅱ（外科系疾患）
その他	講師	鈴木 修一 (53) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）
その他	講師	須藤 扶佐代 (52) ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）
その他	講師	石原 あゆみ (58) ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（医学）
		疾病と治療Ⅲ（小児の疾患・感染症）
その他	講師	高林 克日己 (75) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅳ（高齢者の疾患・精神疾患）
その他	講師	渡邊 博幸 (57) ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（医学）
		疾病と治療Ⅳ（高齢者の疾患・精神疾患）
その他	講師	布施 千草 (75) ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（社会福祉学）
		保健医療福祉制度論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	勝又 由美 (34) ＜令和8年4月＞ 専門学校卒
		母性看護学概論
その他	講師	大塚 朱美 (64) ＜令和9年4月＞ 修士（教育学）
		公衆衛生看護方法論Ⅱ（学校看護）
その他	講師	吉川 悦子 (51) ＜令和9年4月＞ 博士（看護学）
		公衆衛生看護方法論Ⅲ（産業看護）
その他	講師	中山 登志子 (60) ＜令和9年4月＞ 博士（看護学）
		看護学セミナー
その他	講師	初村 恵 (50) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学）
		看護管理・看護政策論
その他	講師	柳澤 修平 (46) ＜令和8年4月＞ 専門学校卒
		災害看護学概論 災害看護学演習
その他	講師	

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	勝又 由美 (34) ＜令和8年4月＞ 専門学校卒
		母性看護学概論
その他	講師	大塚 朱美 (64) ＜令和9年4月＞ 修士（教育学）
		公衆衛生看護方法論Ⅱ（学校看護）
その他	講師	吉川 悦子 (51) ＜令和9年4月＞ 博士（看護学）
		公衆衛生看護方法論Ⅲ（産業看護）
その他	講師	中山 登志子 (61) ＜令和9年4月＞ 博士（看護学）
		看護学セミナー
その他	講師	初村 恵 (50) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学）
		看護管理・看護政策論
その他	講師	柳澤 修平 (46) ＜令和8年4月＞ 専門学校卒
		災害看護学概論 災害看護学演習
その他	講師	杉山 りん (29) ＜令和7年4月＞ 修士（人文科学）
		体育実技C

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	
その他	講師	

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	守永 直幹 (62) ＜令和7年4月＞ 仏文学修士
		フランス語入門
その他	講師	齊藤 達也 (37) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		薬理学

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。（大学院、高等専門学校は除く）
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

・宮崎美砂子教授就任辞退により、栗栖千幸教授（公衆衛生看護管理論）、上原たみ子准教授（地域資源とマネジメント、公衆衛生看護方法論Ⅰ（行政看護）、公衆衛生看護学演習、健康教育論、公衆衛生看護学実習、公衆衛生看護管理実習）の担当科目を追加。令和7年2月AC教員審査済み。

・小坂恵美教授の担当科目を追加。（海外研修Ⅰ、海外研修Ⅱ）

・小寺（川俣）香織助教を追加。令和7年2月AC教員審査済み。

・三保健助教を追加。令和7年2月AC教員審査済み。

・三好（山城）未来助教を追加。令和7年2月AC教員審査済み。なお、学業等の理由により、就任が令和8年4月から令和9年4月に遅延。

・長谷川修治教授を非常勤講師に変更。

・長谷川修治講師辞退により、伊東哲講師に変更。（英語Ⅱ）

・山本雅哉教授辞退により、實石達也准教授に変更。（自然科学基礎演習、海外研修Ⅰ、海外研修Ⅱ、人体の構造と機能Ⅰ）

・足立英彦准教授辞退により、相磯（藤森）友子准教授（その他）（行動科学入門）、清末有紀助教（その他）（心理学、行動科学入門、人間関係論、コミュニケーション論）に変更。

・足立英彦准教授を非常勤講師に変更。

・角正美准教授が教授に昇任。

・鈴木（土屋）瑛貴講師辞退により、杉山りん講師に変更。（体育実技C）

・北田（堀越）沙也加講師を非常勤講師に変更。

・千葉諭助教辞退により、倉山太一教授に変更。（自然科学基礎演習）

・吉田（田島）実久講師が旧姓使用を中止。

・松本暢平講師辞退により、北池正教授に変更。（データサイエンス入門）

・大塚孝一講師辞退により、伊東哲講師に変更。（英語Ⅰ）

・小川亮彦講師辞退により、守永直幹講師に変更。（フランス語入門）

・宮野孝彬講師辞退により、齊藤達也講師に変更。（薬理学）

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。

原則としてAC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります

- ・AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
26 名	6 名	20 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A''）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B''）
8	7	6	4	25	25	5	7	6	5	2	20	20	1
(8)	(6)	(5)	(2)	(21)	(21)	(3)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C''）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D''）
7	7	6	7	27	27	5	7	7	6	8	28	28	5
[Δ1]	[－]	[－]	[3]	[2]	[2]	[－]	[Δ1]	[－]	[－]	[4]	[3]	[3]	[－]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、（ ）内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
67 歳	3 名	3 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{27}{25} = 108\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{27}{25} = 108\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{20} = 15\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{5}{5} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	宮崎 美砂子	R6.6	必修	地域資源とマネジメント	①	R6.6病による急逝のため就任辞退（7）						
				必修	エレメンタリーセミナー	①							
				必修	公衆衛生看護学概論	①							
				選択	公衆衛生看護学方法Ⅰ（行政看護）	①							
				選択	公衆衛生看護学演習	①							
				選択	公衆衛生看護学管理論	①							
				選択	地区活動論	①							
				必修	健康教育論	①							
				必修	看護学セミナー	①							
				必修	災害看護学概論	①							
				選択	災害看護学演習	①							
				必修	看護学研究Ⅱ	①							
				必修	看護学研究Ⅲ（卒業研究）	①							
				選択	公衆衛生看護学実習	①							
				選択	公衆衛生看護学展開実習	①							
				選択	公衆衛生看護学管理実習	①							
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、

「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼任教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。

(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、

「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼任教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{25} = 4\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

0 人

(注)・(3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。
・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・定年により退職した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和7年度に就任予定であった基幹教員(宮崎美砂子教授)について、病による急逝のため、やむを得ず就任辞退となったが、担当予定科目についてはその他の基幹教員が分担することとし、既にAC教員審査を受審済である。また、教員の追加採用を計画しており、学生の履修に不利益がないよう配慮を行っている。学生への周知については、認可前に逝去したため情報が公になっておらず、特に説明は行っていない。

(注)・上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和 6 年)	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないように留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	現時点では、椿森キャンパスが改修工事中のため、一校地で教育を実施している。令和7年9月以降、看護学部の教育は、千葉若葉キャンパスと、千葉医療センター内椿森キャンパスの二校地で実施する。 学生への対応：千葉若葉キャンパスでは、1～2年次の教養教育科目、専門基礎科目及び専門科目の一部、椿森キャンパスでは、1～2年次の専門科目の一部及び3～4年次の専門科目を履修する。1日でのキャンパス間の移動はないように時間割を作成しており、教育において移動による支障は生じない。 課外活動においては、本学のサークルはすべて千葉若葉キャンパスで18：10～20：45まで実施している。椿森キャンパスでの授業が18：10まで行われるのは週に0～1日であり、影響は限定的と考えている。 教員への対応：複数学年の科目を担当する教員も、1日でのキャンパス間の移動が生じないようにしている。移動が生じる場合も、担当コマの間を空け、会議曜日にはできるだけ授業科目を入れないように時間割を作成済である。 教員の研究室は千葉若葉キャンパスに配置している。椿森キャンパスには共同研究室が配置される。図書館は双方のキャンパスに置くとともに、いずれのキャンパスからも情報検索が可能となっている。（7）	教員は、看護学実習が始まると1日でのキャンパス間の移動が必要になる状況も生じるため、椿森キャンパス整備終了による活用開始（令和7年9月）以降は二校地双方に駐車場を整備するとともに、webシステムを用いた会議参加も予定している。（7）
認 可 時 (令和 6 年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	アドミッションポリシー7項目（配慮ある態度、高い志、人間・健康・社会や環境への関心、確かな学力、学ぶことへの意欲、遂行力、自己管理能力）を踏まえ、面接を交えた入学選抜を行った。 令和7年度の入学者は26名であった。令和6年9月の認可後からの入試広報の開始による立ち遅れ、附属高等学校への説明不足、新規の設置による実績のなさなどによると考えている。 令和6年度末に以下のように学生募集体制の強化を図った。 ・入試・広報課の人事体制強化 ・広報委員会設置による広報の充実 ・学生募集強化チーム設置による募集活動改善・新規企画の提案 ・附属高校連絡協議会の改組による連携強化 また、新たに保護者向けオープンキャンパス（2月）、高校進路指導教員への説明会（4月）を行った。（7）	令和6年度末の「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援：キラリと光る教育力」の採択を契機に2月以降発足した、若手教職員による「学生募集強化チーム」、「大学経営企画室」、「広報委員会」に、令和7年度から新たに看護学部教員も加わっている。学生募集強化チームの提案による、多様なオープンキャンパスの開催（「学部独自企画オープンキャンパス」5・8月、土日も部活に追われる高校生が平日の放課後に個別に申し込める「ナイトオープンキャンパス」5～7月開催など）、SNSを活用した高校生との関係構築と維持（5月末開始予定）、ホームページの受験生応援サイトの改修（6月末完成予定）、新規駅広告の展開（6月）、附属学校連絡協議会の開催（5月）を計画している。 看護学部では4月に20名の教員が着任し、これらの活動を担い、積極的な学生募集を展開する。また、高校への「出前授業」の計画を策定し（5月）、6月以降展開していく。 看護学部の特徴である地域密着型の教育体制、国立病院機構4病院看護部ほか実習施設看護部と連携協働した活動、地域共創ケアセンターを活用した教育や活動を推進し、その成果を積極的に発信する。（7）

認可時 (令和6年)	・発達教育学部発達支援教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	発達教育学部の令和6年度の入学者は92名であり、令和5年度の80名を上回ったが、引き続き定員には及ばなかった。そのため、令和7年度から入学定員を140名から100名に変更することとした。 令和6年度は学生主体のオープンキャンパスを目指し、学生と高校生が入試について語り合うトークライブ、学生による小学校模擬授業や体験型の授業紹介、また海外研修（カンボジアの小学校研修）参加学生の報告を行った。また、国語科教員等による「小論文試験対策講座」も行った。 しかしながら、結果的に令和7年度の入学者は定員充足に及ばなかった。その要因として、教員・保育者志望者の減少という社会動向もあるが、何より本学部の魅力を十分に伝えきれなかったことによるオープンキャンパスの参加者数の伸び悩み及び附属高校からの入学者の大幅な減（令和6年度入試は21名、令和7年度入試は5名）があげられる。（7）	発達教育学部は、令和6年度からコース制を導入したが、社会動向に相応した学びが展開できるよう、新たに以下の2つの新しいコース（プログラム）を設置する。 令和8年度に本学の理念である「共生社会の実現」を地域に密着した視点から学ぶ「地域共生プログラム」を設置する。本年度はこのプログラム構成科目を決定し（5月）、令和8年度受験生への周知を開始する。 令和9年度には「小学校・特別支援学校・幼児教育におけるICT活用プログラム」を設置する。本年度はプロジェクトチームを組み、構成科目の検討を開始（6月）するとともに、本プログラムを担当する新たな基幹教員の公募を開始する（6月）。 学部独自企画オープンキャンパスにおいて、本学部は6月に本学で開催される予定のバリアフリー演劇の出演者と学生のトークショー、幼児教育や保育をや4年制大学で学ぶ意義を生涯設計から考える特別講座を開催する（5月）。同様の学部独自企画によるオープンキャンパスを8月にも実施する予定である。 附属高校からの入学者の減少を踏まえ、附属高校との連携強化策として、附属高校教員を対象とする大学の学部・入試の説明会の早期開催（昨年度は3月に実施したが、本年度は12月に早める）、「大学・附属高校連絡会議」の再編成による情報共有の強化やタイアップクラスに対する大学の特別授業の計画の具体化（5月）を行う。また、令和7年度の新たな取組として1、2年生を対象とした「インクルーシブ教育」についての授業を本学部教員が年間5回にわたって展開することとしている。（7）

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。
- 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

植草学園大学学則第38条第2項の規定に基づき、植草学園大学におけるファカルティ・ディベロップメントについて必要な事項を定めることを目的として、「植草学園大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」を設けている。この規程に基づき「FD委員会」を設置している。

「FD委員会」は、学長、副学長、学部長等のほか、各学部から選出された教授及び学長から指名された教員、事務局からは大学事務局長、学務課長が委員となって構成されている。

植草学園大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程

〔制 定 令和2年4月1日〕

〔最近改正 令和7年4月1日〕

(目的)

第1条 この規程は、植草学園大学学則第38条第2項の規定に基づき、植草学園大学（以下「大学」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）について、必要な事項を定めることを目的とする。

(教育方法等改善のための組織的取組)

第2条 大学は、建学の精神並びに教育理念及び教育目標に基づき、教員が主体的に行う教育方法等の改善に資することを目的として教育方法の研究、工夫を積極的に推進するために、次の各号に掲げる事項に組織的に取り組むものとする。

- (1) 授業評価に関する事項
- (2) 新任教員研修に関する事項
- (3) 講演会・シンポジウム等の開催に関する事項
- (4) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項
- (5) 教育効果を上げるための教授法改善、シラバスの工夫、成績評価、教材開発等に関する事項
- (6) 広報活動に関する事項
- (7) その他教育方法等の改善に関する事項

(FD委員会の設置)

第3条 前条に規定する事項について審議・検討を行うため、FD委員会を置く。

(FD委員会の組織)

第4条 FD委員会は、次の者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 学科長
- (5) 各学部から選出された教授各1名
- (6) 大学事務局長
- (7) 学務課長

- (8) その他学長が指名した者
- 2 前項第5号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 第1項第8号の委員は、必要に応じて置くものとする。
- (委員長及び副委員長)
- 第5条 FD委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 2 委員長は、学長が協議の上指名する者をもって充て、副委員長は、委員長が指名した者をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、必要に応じて、その職務を代理する。
- (会議)
- 第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 委員長は、必要に応じて委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聴くことができる。
- (庶務)
- 第7条 FDに関する庶務は、学務課において処理する。
- (規程の改廃)
- 第8条 この規程の改廃は、学長が大学運営協議会の意見を聴いて行う。
- 附 則 (令和2年6月3日学長承認)
- 1 この規程は、令和2年6月3日から施行し、4月1日から適用する。
- 2 植草学園大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程(平成20年4月1日制定) は、廃止する。
- 附 則 (令和5年4月1日学長決裁)
- この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- (事務組織の再編)
- 附 則 (令和7年4月1日学長決裁)
- この規程は、令和7年4月1日から施行する。
- (植草学園短期大学の廃止のため)
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
- FD委員会は、令和6年度まで大学及び短期大学(現在は廃止認可申請中)で合同で設置されており、教員は学長、副学長、学部長等のほか、大学は各学部、短大は学科から選出された教授及び学長から指名された教員合わせて9名が、事務局からは大学事務局長、学務課長が委員となって構成されていた。令和6年度の委員会は年6回開催され、委員全員が参加した。なお令和6年度末の短大閉学に伴い令和7年からは大学の設置となっている。
- c 委員会の審議事項等
- ・授業評価に関する事項
 - ・新任教員研修に関する事項
 - ・FDに関する講演会・シンポジウム等の開催に関する事項
 - ・教員の教授活動相互研鑽に関する事項
 - ・教育効果を上げるための教授法改善、シラバスの工夫、成績評価、教材開発等に関する事項
 - ・FDに関する広報活動に関する事項
 - ・その他教育方法等の改善に関する事項
- ② 実施状況
- a 実施内容
- ・大学、短大合同FD研修会の実施(令和6年度は3回)
 - ・授業改善の取り組み事例の発表
 - ・学生による「授業改善のための実態調査」(授業アンケート)の実施
- b 実施方法
- 大学・短大合同FD研修会は、教授会後の時間を利用して計3回実施した。
- 当日やむを得ず欠席となった教員にも、録画した動画を視聴し、全員参加としている。
- いずれも終了後にアンケートを実施し、理解度の確認を行っている。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
- 【全員参加】
- 第1回 令和6年5月15日 「研究に関わるコンプライアンスについて」
- 第2回 令和6年7月17日 「科研獲得の意義と方法」
- 第3回 令和7年1月15日 「基幹教員制度について」
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- 学生に対する授業評価アンケートは、全学で学内ポータルシステム(キャンパスプランポータル)のアンケート機能により、WEBアンケート形式で実施している。学生から入力された自由意見に対して、教員から回答コメントを入力できる機能を活用し、学生へのフィードバックができる環境となっている。学生からの要望を汲み取り、可能な限り反映させることにより授業改善を図っている。
- また、その改善結果について、各科目担当教員は「教員自己点検・評価アンケート」(授業報告書)を学期末に提出し、FD委員会及び各学部長が確認している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

(令和6年度実績)

実施時期：前期 令和6年5月7日～令和6年8月5日
後期・通期 令和6年10月1日～令和7年2月3日

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対する授業評価アンケートは、全学で学内ポータルシステム（キャンパスプランポータル）のアンケート機能により、WEBアンケート形式で実施している。学生及び教員は、各自が履修又は担当している授業のアンケート結果を、学生回答の翌日の自動集計により閲覧可能である。結果はホームページ上で公表している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部看護学科は、共生社会（インクルーシブ社会）の実現に看護学の立場から地域社会に貢献する人材として、人々の生命と人権を尊重し、豊かな人間性と高い倫理観をもち、科学的かつ論理的思考に基づき主体的に行動できる専門的知識・技術を修得した看護師及び保健師を養成することを目的としている。高齢化と高齢者の地域孤立がますます進む現在、より広範な地域医療人材として、人材不足が叫ばれている看護師、保健師を養成し、地域に寄与するとともに、共生社会実現に向けてさらなる歩みを進めることとした。

令和6年度の入試では、入学定員80名に対し、全入試形態の合計で志願者53名、合格者46名、入学者26名と定員確保に至らなかった。今後は学生募集強化チームの活動、広報の充実等を通して学生募集体制の強化を図るとともに、目的達成のために、申請時の計画を確実に履行していく次第である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・「令和6年度自己点検評価書」を令和7年7月に公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（令和7年7月）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和9年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和 7 年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。